

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-31	高等学校	商業	グローバル経済	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	※教科書名		
7 実教	商業 734	グローバル経済		

## 1. 編修の基本方針

- ・職業及び生活との関連を重視する態度を養う観点から、本文記述とともに実社会に即した具体的事例を「事例」として掲載した。
- ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、本文記述に関連した興味深い考察を「コラム」として掲載した。
- ・自主及び自律の精神を養う観点から、章の終わりに章の内容の理解度を問う「確認問題」を掲載し、自学自習に取り組めるようにした。
- ・創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、章末に実習を設けた。
- ・主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、「事例」と「コラム」を基にした実習課題として「+ S t u d y」を掲載し、主体的・対話的に内容の理解を深める学習ができるようにした。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
見返し	職業及び生活との関連を重視する観点から、身近な事柄と経済が関連することを想起させるために、ノーベル経済学賞の受賞者と受賞理由を紹介し、生徒の生活と教科書で学ぶ内容の関連性をイメージできるようにした。(第2号)	巻頭①②
	伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできたわが国と郷土を愛する態度を養う観点から、日本のアニメをテーマとしてとりあげ、日本の文化がわが国の経済の発展に寄与していることを記述した。(第5号)	巻頭③
	職業及び生活との関連を重視する観点から、実際に起こったインフレーションの事例をとりあげ、教科書で学ぶ内容が生活と結びついていることが理解できるようにした。(第2号)	巻頭④

<p>1 章</p>	<p>男女平等の観点から，教科書に登場する人物の男女の比率が偏らないよう配慮した。（第 3 号）</p> <p>幅広い知識と教養を身に付け，真理を求める態度を養う観点から，グローバル化の進展とともに，それらがもたらす諸問題について記述した。（第 1 号）</p> <p>職業及び生活との関連を重視する観点から，生徒がグローバル化をイメージしやすいように，イラストや写真などを活用し，グローバル化とそれに関連する内容について記述した。（第 2 号）</p> <p>他国を尊重し，国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から，社会の多様性とグローバル化の中で，海外からさまざまな技能や学識を持った人々が流入することが社会の人的資本の蓄積の高度化に繋がることやさまざまな人々が一つの社会に共存することで生じる影響について記述した。（第 5 号）</p>	<p>p. 6～p. 16</p> <p>p. 6～p. 16</p> <p>p. 6～p. 16</p> <p>p. 12</p>
<p>2 章</p>	<p>男女平等の観点から，教科書に登場する人物の男女の比率が偏らないよう配慮した。（第 3 号）</p> <p>幅広い知識と教養を身に付ける観点から，経営のグローバル化の基礎的な内容や現状・課題について記述した。（第 1 号）</p> <p>自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う観点から，異文化理解について記述した。（第 2 号）</p> <p>正義と責任を重んずる態度を養う観点から，企業の社会的責任や法令遵守についての内容を扱った。（第 3 号）</p> <p>生命を尊び，自然を大切に，環境の保全に寄与する態度を扱うことから，グローバル経営における労働問題と環境問題について記述した。（第 4 号）</p>	<p>p. 18～p. 34</p> <p>p. 18～p. 34</p> <p>p. 30</p> <p>p. 32～p. 34</p> <p>p. 32～p. 34</p>
<p>3 章</p>	<p>男女平等の観点から，教科書に登場する人物の男女の比率が偏らないよう配慮した。（第 3 号）</p> <p>幅広い知識と教養を身に付ける観点から，経済のグローバル化の基礎的な内容や現状・課題について記述した。（第 1 号）</p> <p>男女の平等，自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う観点及び，生命を尊び，環境の保全に寄与する態度を養う観点から，ダイバーシティ経営について記述した。（第 3 号，第 4 号）</p>	<p>p. 36～p. 75</p> <p>p. 36～p. 75</p> <p>p. 37</p>

	<p>勤労を重んずる態度を養う観点から、日本の賃金体系の変化や人材のグローバル化の現状と課題について記述した。(第2号)</p> <p>他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、ODA(政府開発援助)についての内容を扱った。(第5号)</p> <p>豊かな情操と道徳心を培う観点から、情報の拡散とそれによる被害や、知的財産権の保護、インターネットを利用するにあたり注意すべきことなどについて記述した。(第1号)</p>	<p>p. 38</p> <p>p. 49</p> <p>p. 73～p. 75</p>
4章	<p>男女平等の観点から、教科書に登場する人物の男女の比率が偏らないよう配慮した。(第3号)</p> <p>幅広い知識と教養を身に付ける観点から、全ての経済活動の基礎となる市場の理論や、経済活動を評価する指標、及び政府の経済政策について記述した。(第1号)</p> <p>主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、市場経済の特徴の一つである競争を取り上げた。(第3号)</p>	<p>p. 78～126</p> <p>p. 78～126</p> <p>p. 86, p. 93～p. 96</p>

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-32	高等学校	商業	グローバル経済	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	商業 734	グローバル経済		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

生徒が「経済」と「グローバル化」について、興味を持って学習しながら、基礎的・基本的な事項を無理なく習得できるように、以下の点に配慮した。

- (1) 章のはじまりで、その章で学習する内容をまとめ、生徒自身が学習の目的を意識しながら学習できるようにした。
- (2) 生徒が事例と関連付けて本文内容を理解できるように、本文記述に対応した具体的事例を「事例」としてまとめた。また、生徒の意欲を引き出すため、本文記述に関連する興味深い話題を「コラム」としてまとめた。
- (3) 生徒が主体的かつ協働的に学習に取り組むことができるように、「事例」「コラム」に対応した実習課題として「+Study」を掲載した。テーマに応じて「調べよう」「考えよう」「話し合おう」という三つの観点のなかから課題を設定し、多様な観点で学習内容を深められるように配慮した。
- (4) 「グローバル経済」全体をより深く理解するための理論的な内容として、「(2) 市場と経済」を最終章となる4章においた。また、経済理論に関連性の深い「(3) グローバル化の動向・課題」を3章で扱い、学習の流れがスムーズになるよう配慮した。
- (5) 「1章 グローバル化が進展する社会」では、「(1) 経済のグローバル化と日本」の「ア グローバル化と国際化」の内容を扱い、本書の導入として、グローバル化によって、世界がどのように変化しているのかが理解できるようにした。
- (6) 「2章 経営のグローバル化」では、グローバル化に伴う企業の社会的責任が理解できるよう、労働問題や環境問題、SDGsについて記述した。また、身近な地域の産業や資源がどのように世界と関わりを持ち、それらが発展していくためにはどのような方策があるかを生徒に考察させる実習を取り入れた。
- (7) 「3章 経済のグローバル化」では、企業活動や経済活動に欠かせない資源が、グローバル化によってどのような影響を受け、どのような課題を抱えているかについて記述した。2節では「(3) グローバル化の動向・課題」の「イ 財とサービスのグローバル化」に関連して、地域経済統合の詳しい進展や、国際収支やその構造変化についても取り上げた。3節では、金融についての理解を深めるために、「(3) グローバル化の動向・課題」の「ウ

金融と資本のグローバル化」の内容とともに、金融市場の概念など金融に関する基礎知識についても記述した。

- (8) 「第3章 経済のグローバル化」では、国際収支の第二次所得収支や資本移転等収支の内容をより理解できるよう「特集 ODA（政府開発援助）」において、グローバル化が進展するなかで日本の果たす役割とともに、無償資金協力と有償資金協力について記述した。
- (9) 「第4章 市場と経済」の「1節 需要と供給による市場の理論」では、経済に関する専門的な概念を説明するために、記述とともにイラストを用いた。
- (10) 「第4章 市場と経済」では、完全競争市場という概念をよりよく理解できるように、「特集 情報の非対称性」において、発展的な内容として情報の非対称性について記述を行った。
- (11) 「第4章 市場と経済」では、企業間の競争についてよりよく理解できるように、「特集 ゲーム理論」において、発展的な内容としてゲーム理論について記述を行った。
- (12) 戦後の日本経済の歴史が学べるように、巻末⑤⑥において「戦後の日本経済の歩み」を取り上げた。
- (13) 側注欄に、生徒をイラスト化したキャラクターの吹き出しを掲載し、内容の理解を助ける役割を与えた。
- (14) 本文下には適宜参照ページを示し、教科書全体の流れをつかみ、相互の内容について理解が深まるようにした。
- (15) 巻末では、本書（申請図書）の重要用語をまとめた「重要用語のまとめと解説」を掲載した。
- (16) 基本的な用語については、英語表記に慣れ親しむことができるように、英訳のルビを振った。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1章 グローバル化が進展する社会	(1) 経済のグローバル化と日本	p. 6～16	(12)
1節 国境を超えて広がる世界	ア グローバル化と国際化		3
2節 グローバル化する社会			3
3節 グローバル化と地域経済統合の動き			2
4節 グローバル化と経済発展			2
5節 グローバル化の諸問題			2
2章 経営のグローバル化	(4) 企業活動のグローバル化	p. 18～34	(20)
1節 多国籍企業とグローバル経営	ア 企業の海外進出		4
2節 企業の海外進出とグローバル経営の難しさ	ウ 世界との関わり		4
3節 グローバル経営の現状			4
4節 グローバル経営の課題			4
5節 グローバル化に伴う企業の社会的責任	イ グローバル化に伴う企業の社会的責任		4

3章 経済のグローバル化		p. 36～75	( 3 3 )
1節 人材のグローバル化	( 3 ) グローバル化の動向・課題 ア 人材のグローバル化		5
2節 財とサービスのグローバル化	( 1 ) 経済のグローバル化と日本 ア グローバル化と国際化 イ 日本経済の現状 ( 3 ) グローバル化の動向・課題 イ 財とサービスのグローバル化		1 0
3節 金融のグローバル化	( 2 ) 市場と経済 ア 市場の役割と課題 ( 3 ) グローバル化の動向・課題 ウ 金融と資本のグローバル化		1 0
4節 情報のグローバル化	( 3 ) グローバル化の動向・課題 エ 情報のグローバル化		8
4章 市場と経済		p. 78～126	( 4 0 )
1節 需要と供給による市場の理論	( 2 ) 市場と経済 ア 市場の役割と課題		1 2
2節 経済成長	イ 経済成長		1 2
3節 景気循環とインフレーション	ウ 景気循環		4
4節 経済政策	エ 経済政策		1 2
		<b>合計</b>	105